

戦前・戦時期日本における愛林運動の展開と愛林思想の形成

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-08-26 キーワード: 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00060709

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



戦前・戦時期日本における愛林運動の展開と愛林思想の形成

Research Project

All

Project/Area Number

11780062

Research Category

Grant-in-Aid for Encouragement of Young Scientists (A)

Allocation Type

Single-year Grants

Research Field

Human geography

Research Institution

Kanazawa University

Principal Investigator

中島 弘二 (中嶋 弘二) 金沢大学, 文学部, 助教授 (90217703)

Project Period (FY)

1999 - 2000

Project Status

Completed (Fiscal Year 2000)

Budget Amount *help

¥1,600,000 (Direct Cost: ¥1,600,000)

Fiscal Year 2000: ¥800,000 (Direct Cost: ¥800,000)

Fiscal Year 1999: ¥800,000 (Direct Cost: ¥800,000)

Keywords

表象 / 自然 / 愛林運動 / 大日本山学会 / ナショナルリズム / 植民地主義 / 愛林思想 / 国民文化

Research Abstract

本年度の研究は、大日本山学会の活動を中心とした十五年戦争期の愛林運動と総動員体制との関係の解明、台湾・朝鮮・満州・南洋など旧大日本帝国植民地における林業政策・森林政策の分析を通じた愛林運動・愛林思想と植民地主義の関係の解明、以上の2点に関しておこなった。

前者については主として大日本山学会発行の機関誌「大日本山林會報」および「山林」の記事の分析を通して、「御大典記念緑化運動」から「挙国造林運動」へと至る一連の愛林運動の歴史が、十五年戦争期のいわゆる「総動員体制」と密接な結びつきを有していたことを明らかにした。それは植樹や造林、森林保全、森林愛護など様々なキャンペーン活動を通じた特殊な国土認識の生産と国民的共感の醸成という役割であった。なお、これらの成果は「北陸史學」誌上で発表した。

後者に関しては同じく「大日本山林會報」および「山林」誌上の植民地林業に関する論説や記事の分析を通して、台湾・朝鮮・満州・南洋のそれぞれの植民地に対する当時の林学者および植民地林業官僚の植民地主義的な森林観・林業観を明らかにするとともに、そうした森林観・林業観と「大東亜共栄圏」や「東亜新秩序」といった地政学的イデオロギーとのつながりにも言及した。その結果、十五年戦争期の植民地林業および森林に対する認識は、「本土」から「国土」「大東亜新秩序」そして「大東亜共栄圏」へと至る地政学的認識のヒエラルヒカルな構造と一定の対応関係にあることが明らかとなった。なお、これらの成果は2000年8月に韓国大邱市で開催された第2回国際批判地理学者会議で報告し、International Critical Geography Conference : for alternative 21st century geographies誌上で公表した。

Report (2 results)

2000 Annual Research Report

1999 Annual Research Report

Research Products (4 results)

All	Other
All	Publications

- [Publications] 中島弘二: "十五年戦争期の緑化運動-総動員体制下の自然の表象-"北陸史学, 第49号, 1-22 (2000) ▼
- [Publications] Koji Nakashima: "Nationalism, colonialism and the representation of nature : forest and country in the afforestation campaign in modern Japan"2^<nd> International Critical Geography Conference : for alternative 21^<st> century geographies. 1. 434-447 (2000) ▼
- [Publications] 中嶋弘二: "「自然の森」から「県民の森」へ-1960~1970年代の国土緑化運動にみる「自然」と「ネーション」-"金沢大学文学部地理学報告, 9. 53-72 (1999) ▼
- [Publications] Koji NAKASHIMA: "Representing nature and nation: National-Land Afforestation Campaign and the production of forest in the 1960's~1970's Japan"Nation,Region and the Politics of Geography in East Asia. 7. 13-29 (1999) ▼

URL:

Published: 1999-03-31 Modified: 2016-04-21